平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月９日

上場会社名　　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　　6250　　ＵＲＬ　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）永尾　慶昭
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）瀬古　達夫　　ＴＥＬ　0428-32-6111
四半期報告書提出予定日　　平成24年11月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	48,454	2.5	1,716	△36.4	1,335	△44.3	585	△63.3
24年３月期第２四半期	47,265	3.6	2,700	19.0	2,396	34.4	1,597	86.3

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　518百万円（△65.6%）　24年３月期第２四半期　1,507百万円（685.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	57.79	－
24年３月期第２四半期	166.53	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第２四半期	78,809	26,216	33.1	2,574.17
24年３月期	78,664	26,184	33.1	2,572.94

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　26,078百万円　24年３月期　26,067百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	48.00	48.00
25年３月期	－	－			
25年３月期（予想）			－	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	2.4	1,900	△32.4	1,500	△48.0	1,000	△49.3	98.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②　①以外の会計方針の変更	：有
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	11,027,107株	24年３月期	11,027,107株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	896,289株	24年３月期	895,884株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	10,130,952株	24年３月期２Ｑ	9,592,045株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外でありますが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国に持ち直しの動きが見られたものの欧州を中心とした長引く景気低迷が重石となり全体として景気は減速傾向でした。国内経済は、震災の復興需要などが牽引となり景気は緩やかな復調傾向にありますが、円高の長期化による輸出環境の悪化や世界経済減速の影響などで先行きの不透明感が強まりました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内市場は天候が順調だったことや震災の復興需要などに支えられて堅調に推移しました。海外の屋外作業機械市場では、最大市場である米国市場は景気が回復傾向にあって、懸念された干ばつの影響が比較的軽微だったことなどで概ね堅調でしたが、欧州は景気低迷の影響により一段と厳しい状況が続きました。

また、為替相場は、対ドルは前年同四半期に比べてほぼ同水準で推移しましたが、対ユーロは一段と円高が進行しました。

このような環境の下、当社グループは、引き続き「中期経営計画２０１４」計画達成に向けて、新市場開拓など種々の売上拡大策や為替変動リスクの緩和と製造原価低減のための海外生産移管を促進しました。また、新基幹業務システムの導入や広島事業所塗装工場の新設など、将来に備えた投資も行いました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第２四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

［売上高］

当第２四半期連結累計期間の売上高は、484億54百万円（対前年同四半期比2.5%増）となりました。その内訳は、国内売上高が217億92百万円（同6.5%増）、米州の売上高は220億71百万円（同8.8%増）、米州以外の海外売上高は45億90百万円（同29.7%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、347億２百万円（同1.4%増）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、チェンソーが昨年の震災需要の反動などで小型タイプを中心に減少しましたが、主力の刈払機および小型防除機が堅調に推移しました。海外は、主力の北米市場が春先の天候が順調だったことに加え、期間限定の価格政策を展開した刈払機や軽量トップハンドルチェンソーが牽引して伸長しました。一方、景気低迷が長引く欧州は、特に南欧やロシアでの販売不振やユーロ安の影響を受けて、大きく落ち込みました。

その結果、小型屋外作業機械の売上高は250億21百万円（同0.6%減）となりました。

・農業用管理機械

国内は、畑作用ブームスプレーヤの販路拡大の推進や独自の整流機構などを装備した高機能1,000リットルタイプ新型スピードスプレーヤの投入などにより大型防除機が伸長したほか、畦草刈機、モアも好調に推移しました。

米国は、世界的な穀物需要の増大や干ばつによる不作の影響で、トウモロコシ、大豆などの穀物価格の上昇が追い風となって大型収穫機が売上を伸ばしましたが、円換算後の売上高は減少しました。

その結果、農業用管理機械の売上高は96億81百万円（同7.2%増）となりました。

②　一般産業用機械

官公庁やガソリンスタンド向けの非常用発電機販売など、従来の主力販売先である建機レンタル・機工ルート以外での拡販もあって、発電機を中心に売上を伸ばしました。

その結果、売上高は56億20百万円（同13.4%増）となりました。

③　その他（アクセサリー、アフターサービス用部品、他）

国内は厳しい価格競争の中にあってアクセサリーの拡販策を定期的に実施するなど売上確保に努めた結果、売上高は堅調に推移しました。

米州でのアフターサービス用部品は伸長しましたが、その他海外地域での落ち込みが大きく、加えて円高の影響もあって海外売上高は前年を僅かに下回りました。

その結果、売上高は81億31百万円（同0.5%増）となりました。

［損　益］

売上は増加したものの、未実現利益の増加や円高による利益の圧迫のほか、一連の海外生産移管過程で一時的に発生する利益率の低下などにより、営業利益は17億16百万円（対前年同四半期比36.4%減）、経常利益は13億35百万円（同44.3%減）、四半期純利益は５億85百万円（同63.3%減）となり、いずれも前年同四半期に比べて減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて１億44百万円増加し、788億９百万円となりました。

これは、商品及び製品の減少12億89百万円、原材料及び貯蔵品の減少５億62百万円等があったものの、現金及び預金の増加11億85百万円、受取手形及び売掛金の増加６億95百万円等によるものであります。

②　負債

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて１億12百万円増加し、525億92百万円となりました。

これは、借入金の減少５億37百万円、支払手形及び買掛金の減少４億21百万円等があったものの、賞与引当金の増加５億19百万円、未払法人税等の増加４億46百万円等によるものであります。

③　純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて31百万円増加し、262億16百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金の減少２億45百万円等があったものの、為替換算調整勘定の増加１億55百万円、利益剰余金の増加99百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と同値の33.1%となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが35億81百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが11億65百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが11億86百万円の支出となりました。その結果、当第２四半期連結会計期間末の資金残高は52億41百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業キャッシュ・フローは、売上債権の増加による支出11億46百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益13億３百万円、減価償却費12億74百万円、たな卸資産の減少額20億45百万円などにより、35億81百万円の収入（前年同四半期は15億７百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入１億円があったものの、投資有価証券の取得による支出２億30百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出10億62百万円などにより、11億65百万円の支出（前年同四半期は６億66百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入14億97百万円があったものの、短期借入金の減少額13億45百万円、長期借入金の返済による支出７億98百万円、配当金の支払額４億86百万円などにより11億86百万円の支出（前年同四半期は11億１百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における春から初夏までに偏っております。そのため、第２四半期累計期間に比べて第３四半期および第４四半期の半年間は売上高および利益の水準が低くなると見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

今後の見通しにつきましては、為替の行方や世界的な景気減速懸念など当社グループを取り巻く経営環境の先行は不透明なため、それらが与える業績への影響を予測しづらい状況にありますが、当第２四半期連結累計期間の業績も概ね予想どおりに推移したことなどから、平成24年８月９日に発表した平成25年３月期の通期業績予想は据置いております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

（為替換算における適用レートの変更について）

当社グループは、外貨建取引及び外貨建債権債務の為替換算における適用レートについて、電信売相場及び電信買相場を適用しておりましたが、平成24年４月１日以降、会計システムの更新に伴い、適用レートを電信売買相場の仲値に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、上記のシステム更新に伴うものであります。

なお、遡及適用した累積的影響額を前連結会計年度の期首時点で算定することは、過去の連結会計年度に関する外貨データの記録方法が異なるため、更新後の会計システムでは過去に遡及した電信売買相場の仲値による換算が出来ないため、実務上不可能であります。

そのため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高としており、外貨建取引及び外貨建債権債務は、期首から将来にわたり電信売買相場の仲値により換算しております。

また、この変更による影響額は軽微であります。

（為替予約の処理）

従来、為替予約については、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を行なっておりましたが、会計システムを更新したことを契機として、デリバティブ取引に係る損益をより的確に表示するため、第１四半期連結会計期間より原則的な処理方法を採用することとし、為替予約を時価評価し、外貨建売上債権及び外貨建売上取引をそれぞれ決算日レート及び取引レートで換算する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、上記のシステム更新に伴うものであります。

なお、遡及適用した累積的影響額を前連結会計年度の期首時点で算定することは、過去の連結会計年度に関する外貨データの記録方法が異なり、更新後の会計システムでは過去に遡及した原則的な処理ができないため、実務上不可能であります。

そのため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高としており、外貨建取引及び外貨建債権債務は、期首から将来にわたり原則的な処理方法に変更しております。

また、この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,056	5,241
受取手形及び売掛金	17,186	17,882
商品及び製品	23,702	22,412
仕掛品	1,076	1,127
原材料及び貯蔵品	6,119	5,557
その他	2,244	2,266
貸倒引当金	△132	△154
流動資産合計	54,252	54,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,293	7,202
土地	8,142	8,100
その他（純額）	5,088	5,501
有形固定資産合計	20,524	20,804
無形固定資産	507	488
投資その他の資産		
その他	3,909	3,690
貸倒引当金	△529	△508
投資その他の資産合計	3,380	3,182
固定資産合計	24,412	24,475
資産合計	78,664	78,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,595	17,173
短期借入金	20,252	19,009
1年内返済予定の長期借入金	2,048	2,581
未払法人税等	278	724
賞与引当金	―	519
製品保証引当金	662	586
その他	4,172	4,526
流動負債合計	45,009	45,122
固定負債		
長期借入金	2,232	2,405
退職給付引当金	3,282	3,146
環境対策引当金	34	34
製品保証引当金	―	91
その他	1,920	1,793
固定負債合計	7,470	7,470
負債合計	52,480	52,592

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,527	9,527
利益剰余金	14,037	14,136
自己株式	△916	△917
株主資本合計	28,648	28,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416	171
繰延ヘッジ損益	△2	－
為替換算調整勘定	△2,995	△2,839
その他の包括利益累計額合計	△2,581	△2,668
少数株主持分	117	138
純資産合計	26,184	26,216
負債純資産合計	78,664	78,809

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	47,265	48,454
売上原価	34,111	36,176
売上総利益	13,153	12,277
販売費及び一般管理費	10,453	10,560
営業利益	2,700	1,716
営業外収益		
受取利息	19	16
受取配当金	42	40
その他	174	116
営業外収益合計	235	173
営業外費用		
支払利息	177	165
為替差損	336	368
その他	25	21
営業外費用合計	539	554
経常利益	2,396	1,335
特別利益		
固定資産売却益	65	3
その他	6	－
特別利益合計	72	3
特別損失		
固定資産除売却損	14	16
減損損失	63	－
リース解約損	－	18
その他	8	－
特別損失合計	85	35
税金等調整前四半期純利益	2,383	1,303
法人税、住民税及び事業税	757	737
法人税等調整額	△5	△37
法人税等合計	751	699
少数株主損益調整前四半期純利益	1,631	603
少数株主利益	34	18
四半期純利益	1,597	585

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,631	603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△245
繰延ヘッジ損益	7	2
為替換算調整勘定	△79	157
その他の包括利益合計	△123	△85
四半期包括利益	1,507	518
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,463	498
少数株主に係る四半期包括利益	44	20

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,383	1,303
減価償却費	1,296	1,274
減損損失	63	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△155	△136
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△154	△1
受取利息及び受取配当金	△61	△56
支払利息	177	165
賞与引当金の増減額（△は減少）	507	519
売上債権の増減額（△は増加）	△4,202	△1,146
たな卸資産の増減額（△は増加）	257	2,045
仕入債務の増減額（△は減少）	1,935	△547
未収消費税等の増減額（△は増加）	407	540
その他	△419	△7
小計	2,036	3,952
利息及び配当金の受取額	61	56
利息の支払額	△176	△166
法人税等の支払額	△398	△261
災害損失の支払額	△14	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,507	3,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△104	△230
投資有価証券の償還による収入	－	100
有形及び無形固定資産の取得による支出	△931	△1,062
有形及び無形固定資産の売却による収入	395	48
その他	△26	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666	△1,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△29	△1,345
長期借入れによる収入	303	1,497
長期借入金の返済による支出	△998	△798
配当金の支払額	△335	△486
その他	△41	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,101	△1,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△44
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△300	1,185
現金及び現金同等物の期首残高	4,053	4,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,752	5,241

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	34,215	4,956	39,172	8,093	―	47,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,801	3,716	24,518	2,628	△27,147	―
計	55,017	8,673	63,690	10,721	△27,147	47,265
セグメント利益	1,484	197	1,682	2,935	△1,917	2,700

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。
２．当第２四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△1,917百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	34,702	5,620	40,322	8,131	―	48,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,850	4,086	26,937	2,635	△29,573	―
計	57,552	9,707	67,259	10,767	△29,573	48,454
セグメント利益	413	245	659	3,018	△1,960	1,716

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。
２．当第２四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△1,960百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。